

ホールインワン・アルバトロス保険

桐戸歯科医院
医長

桐戸眞佐雄



損保会社の証書には、今でこそホールインワン、アルバトロス保険とありますが、以前は単にホールインワン保険とだけ記してありました。26年前同業者20名の三島スプリングスで行われたコンペでのこと、12番518ヤード、打ち下ろしのパー5で、何と私の二打目があることかカップインしてしまいました。

「キャディーさん、これって何て言うの？」が第一声でした。同伴者にアルバトロス、日本語ではアホウ鳥と教えていただきました。次の疑問は保険適用されるのかなでした。携帯電話などない時代ですので確認も出来ず、ラウンド終了後、仲間達の「適用される」という無責任な多数決により、コンペパーティーを急遽ゴルフ場から料理屋へ変更することとなりました。御祝儀こそ頂きましたが当然大赤字。二次会も終わり領収書をしっかり財布に入れ翌日、損保会社に問い合わせると「パー4のアルバトロスは適用ですが、パー5のアルバトロスは二回打ってますのでホールインワンではありません。」と一蹴されました。

冷静になって考えればその通りかなと早まったことを反省しましたが、アマチュアゴルファーにとっては名誉なことだし楽しい時間も過ごせたと気を取り直し、日常の生活に戻っていました。

それから半年後、損保会社の担当者より電話があり、以前のアルバトロスの件ですがと切り出したので、一瞬保険適用の連絡かなと思いましたが内容は以下のごとくでした。

「来月一日よりパー5のアルバトロスも適用されます。今度達成された時は速やかにご一報下さい。」とのこと。

「二度と出来るか。」と声を荒げてしまいました。

それから長い年月が流れ、前期高齢者となった今年の2月22日。当クラブへ三人でエントリーしていたのですが、天気予報は雨80%、中止と思いきやコタツで暖まっていると決行との連絡があり渋々出発しました。

コンペ以外ではセルフプレーが多いのですが、

なぜかキャディ付プレー最終組なので理由で嫌がる二人を説得してバックティでやらせてもらうこととしました。

そして午後14番ホールに来ると、前の組のツアーサム、セルフのメンバーさんがティーショットを打っていました。Aさんのショットはバンカーへ、Bさんのショットはピン左手前に、キャリーしてスライスラインに乗り、あわやホールインワンかと思われましたがカップの右側をかすめ通過してしまいました。

「惜しかったですね、入っていたら私達が証人になりましたのに。」と言葉を交わし、お二人はお先にとホールアウトして行きました。オーナーの私はパートナーに、今のBさんより5cm左を狙えば入るんだねと話し8番アイアンでショット。その通りの方向へ飛び出しまさかまさかと言いながら、見ていると50cm手前へキャリーそのままカップへ吸いこまれてしまいました。年甲斐もなく興奮し30～40cm飛び跳ねたとのことです。(同伴者の弁)風呂場の血圧計は正常値より10程高く出ました。

勿論、今回は損保会社に確認後、記念コンペ、パーティー、クオカード作成とつつがなく一連の行事を終了し、現在は保険の額を倍にして夢よふたびと週一ゴルフを楽しんでいる次第です。困みに週一ゴルファーのホールインワンの確率は、米国の保険会社のデータによりますと、上級者は25年に一度、平均的アマチュアは60年に一度、アルバトロスはその二百倍難しいとのこと。

その両方達成したことは天文学的確率が、私って宇宙人かも？